

×第75回 令和7年9月2日（火）

## 今日は新チームをつくる指導者について。

指導者には「マルティプルタイプ」と「ステレオタイプ」の2種類あります。

「マルティプルタイプ」の指導者は新しいチームになったとき、選手を見てその特性に合わせたチーム作りをします。今年はオフェンス型のチームであるとか、エースが不在で全員参加型のチームにするとか。

一方「ステレオタイプ」の指導者は自分のアイデンティティからチームスローガン、ポリシーも決まっていてチームの作り方も毎年同じ。カリスマ的な指導者の下、伝統的な強豪チームに多いタイプです。

どちらが良いというわけではなく、現在の環境にマッチしていることが大事です。またほとんどの指導者は両方の要素を持っていて、割合が違うだけです。プロ野球だって主力が引退する、または他のチームに移籍したらチーム作りは変わらざるを得ません。

伝統にあぐらをかいてやり方を変えようとしないチームにはいつか綻びが出ます。そのときに自分たちの力がないことにストレスを感じて焦りからチーム経営に歪みが出ることがあります。

指導者の意識もアップデートが必要ですし、従来との比較ではなく現在のチームの最高の形を模索する姿勢が大切です。

少し前は古い考え方の指導者が問題をおこす事件が頻繁に起きていましたが、最近はだいぶ減りました。若くて柔軟な指導者が増えてきたからだと思います。どの競技でも国際舞台で活躍する選手が増えたことが、指導者の質があがっていることの証明だと思います。

指導は本当に面白いので離れたくない気持ちもありますが、ある程度やったら一線は若い人に譲るべきかと思います。プロ野球の監督もしっかり世代交代していますよね。70代以上の解説者の中には「ちょっとどうかな」と思う意見もチラホラ見受けられます。

私は新チームが始動するときが本当に好きでした。どのように成長するのかワクワクしましたし、今年は厳しいと思うメンバーの年のほうですが、成績が良かったことも数多くありました。きっとそのような年は指導者も選手もものすごく研究や工夫をするからではないかと思います。

新チームの活躍を楽しみにしています。大事な試合があるときはぜひ声をかけてください。可能な限り観に行かせてもらいます。